



## ボイスメール プロファイルの設定

次のトピックでは、ボイスメール プロファイルについて説明します。

- 「ボイスメール プロファイルの設定値」 (P.86-1)
- 「ボイスメール プロファイルの削除」 (P.86-5)
- 「ボイスメール プロファイルの検索」 (P.86-3)
- 「ボイスメール プロファイルの設定」 (P.86-4)
- 「ボイスメール プロファイルと影響を受けるデバイスとの同期化」 (P.86-5)
- 「ボイスメール プロファイルの削除」 (P.86-5)
- 「関連項目」 (P.86-6)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」

## ボイスメール プロファイルの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [ボイスメール プロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウによって、回線に関連したボイス メッセージ情報を定義できません。



(注)

ボイスメール プロファイルは、デバイスではなく電話番号に割り当てられます。

表 86-1 では、ボイスメール プロファイルの設定値について説明します。関連する手順の詳細については、「関連項目」 (P.86-6) を参照してください。

表 86-1 ボイスメール プロファイルの設定値

フィールド	説明
<b>[ボイスメールプロファイル情報 (Voice Mail Profile Information)]</b>	
[ボイスメールプロファイル名 (Voice Mail Profile Name)]	Cisco ボイスメール プロファイルを識別する名前を入力します。有効な文字は、英数字 (a ~ z、A ~ Z、0 ~ 9)、ピリオド (.)、ダッシュ (-)、およびアンダースコア (_) です。

表 86-1 ボイスメール プロファイルの設定値 (続き)

フィールド	説明
[説明 (Description)]	プロファイルの説明を記述します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、バックスラッシュ (\)、山カッコ (<>)、ドル記号 (\$)、一重引用符 (')、開きカッコ (())、閉じカッコ (())、スラッシュ (/)、コロン (:)、セミコロン (;)、等号 (=)、アットマーク (@)、チルダ (~)、波カッコ ({}), またはアポストロフィ (') は使用できません。
[ボイスメールパイロット (Voice Mail Pilot)]	[ボイスメールパイロットの設定 (Voice Mail Pilot Configuration)] 内で指定された適切なボイスメールパイロット番号か、[<デフォルトを使用 (Use Default)>] を選択します。
[ボイスメールボックスマスク (Voice Mail Box Mask)]	<p>自動登録された電話機用のボイスメールボックス番号をフォーマットするのに使用するマスクを指定します。自動登録された電話機のディレクトリ回線から、コールをボイスメッセージシステムに転送する場合、Cisco Unified Communications Manager は、そのディレクトリ回線の [ボイスメールボックス (Voice Mail Box)] フィールドに設定されている番号に、このマスクを適用します。</p> <p>たとえば、972813XXXX というマスクを指定した場合、電話番号 7253 のボイスメールボックス番号は 9728137253 になります。マスクを入力しない場合、ボイスメールボックス番号は電話番号と同じです (この例では 7253 です)。</p> <p>デフォルトでは、Cisco Unified Communications Manager は、ボイスメールボックス番号を電話番号と同じ値に設定します。電話番号を設定するときに、ボイスメールボックス番号を変更できます。詳細については、「電話番号の設定」(P.61-1) を参照してください。</p> <p><b>(注)</b> コールが SIP トランクを介して特定の DN から、Cisco Unified Communications Manager と統合されているボイスメールサーバまたはサービスにリダイレクトされる場合、電話機のボイスメールプロファイルのボイスメールボックスマスクによって、SIP 転送ヘッダー内の転送番号が変更されます。この動作が想定されているのは、Cisco Unified Communications Manager サーバがメールボックスを選択する手段として転送ヘッダーを使用するためです。</p>
[これをシステムのデフォルトボイスメールプロファイルに設定 (Make This the Default Voice Mail Profile for the System)]	<p>このチェックボックスをオンにして、このプロファイルをデフォルトにします。</p> <p><b>(注)</b> [これをシステムのデフォルトボイスメールプロファイルに設定 (Make This the Default Voice Mail Profile for the System)] チェックボックスをオンにすると、このボイスメールプロファイルは、現在のデフォルトプロファイルを置き換えます。</p>

## ボイスメール プロファイルの検索

ネットワーク内にはいくつかのボイスメール プロファイルが存在する場合があります。Cisco Unified Communications Manager では、条件を指定して、特定のボイスメール プロファイルを見つけることができます。ボイスメール プロファイルを見つける手順は、次のとおりです。



(注)

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザ セッションでの作業中は、ボイスメール プロファイルの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、ボイスメール プロファイルの検索設定は保持されます。

### 手順

#### ステップ 1

[ 拡張機能 (Advanced Features) ] > [ ボイスメール (Voice Mail) ] > [ ボイスメール プロファイル (Voice Mail Profile) ] の順に選択します。

[ ボイスメール プロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Profiles) ] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

#### ステップ 2

データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ ステップ 3 ] に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- ドロップダウン リスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注)

検索条件を追加するには、[ + ] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[ - ] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[ フィルタのクリア (Clear Filter) ] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

#### ステップ 3

[ 検索 (Find) ] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ ページあたりの行数 (Rows per Page) ] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注)

該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [ 選択項目の削除 (Delete Selected) ] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[ すべての選択 (Select All) ] をクリックして [ 選択項目の削除 (Delete Selected) ] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

#### ステップ 4

レコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注)

リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

### 追加情報

「関連項目」(P.86-6) を参照してください。

## ボイスメール プロファイルの設定

電話番号に対してボイスメール プロファイルを設定する手順、ボイスメール プロファイルをコピーする手順、または既存のボイスメール プロファイルを更新する手順は、次のとおりです。

### 手順

**ステップ 1** メニュー バーで、[ 拡張機能 (Advanced Features) ] > [ ボイスメール (Voice Mail) ] > [ ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile) ] の順に選択します。

[ ボイスメールプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Profiles) ] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- ボイスメール プロファイルをコピーするには、該当するボイスメール プロファイルを見つけます（「ボイスメール プロファイルの検索」(P.86-3) を参照）。[ 検索結果 (Search Results) ] リストから、コピーするボイスメール プロファイルに対応する [ コピー (Copy) ] アイコンをクリックし、「ステップ 3」に進みます。
- 電話番号に対してボイスメール プロファイルを設定するには、[ 新規追加 (Add New) ] ボタンをクリックします。[ ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration) ] ウィンドウが表示されます。「ステップ 3」に進みます。
- 既存のボイスメール プロファイルを更新するには、該当するボイスメール プロファイルを見つけます（「ボイスメール プロファイルの検索」(P.86-3) を参照）。次に、「ステップ 3」に進みます。

**ステップ 3** 該当する設定値を更新します（表 86-1 を参照）。

**ステップ 4** [ 保存 (Save) ] をクリックします。

既存のボイスメール プロファイルを更新する場合は、[ 設定の適用 (Apply Config) ] をクリックして、ボイスメール プロファイルに関連付けられたデバイスをすべて同期化します。[ 設定の適用 (Apply Config) ] ボタンの詳細については、「ボイスメール プロファイルと影響を受けるデバイスとの同期化」(P.86-5) を参照してください。

### 追加情報

「関連項目」(P.86-6) を参照してください。

# ボイスメール プロファイルと影響を受けるデバイスとの同期化

デバイスと設定を変更したボイスメール プロファイルを同期させる手順は、次のとおりです。この手順によって、中断を最小限に抑えた方法で未処理の設定が適用されます（たとえば、影響を受けるデバイスの一部は、リセットまたはリスタートが不要な場合があります）。

## 手順

- ステップ 1** [拡張機能 (Advanced Features)] > [ボイスメール (Voice Mail)] > [ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile)] の順に選択します。  
[ボイスメールプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Voice Mail Profiles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 使用する検索条件を選択します。
- ステップ 3** [検索 (Find)] をクリックします。  
検索条件に一致するボイスメール プロファイルがウィンドウに表示されます。
- ステップ 4** 該当するデバイスを同期させるボイスメール プロファイルをクリックします。[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] 画面が表示されます。
- ステップ 5** 他の設定変更を行います。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 7** [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。  
[設定情報の適用 (Apply Configuration Information)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 8** [OK] をクリックします。

## 追加情報

「[関連項目](#)」(P.86-6) を参照してください。

# ボイスメール プロファイルの削除

ボイスメール プロファイルを削除する手順は、次のとおりです。デフォルト プロファイルや [ボイスメールなし (No Voice Mail)] のプロファイルは、削除できません。

## 始める前に

電話番号が使用するボイスメール プロファイルは、削除できません。ボイスメール プロファイルを使用している電話番号を検索するには、[ボイスメールプロファイルの設定 (Voice Mail Profile Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リスト ボックスから [依存関係レコード (Dependency Records)] を選択し、[移動 (Go)] をクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、「[依存関係レコードへのアクセス](#)」(P.A-2) を参照してください。使用中のボイスメール プロファイルを削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用されているボイスメール プロファイルを削除する場合は、事前に、次の作業のどちらか一方または両方を実行しておく必要があります。

- 削除するボイスメール プロファイルを使用しているデバイスすべてに、別のボイスメール プロファイルを割り当てます。
- 削除するボイスメール プロファイルを使用しているデバイスを削除します。

### 手順

- 
- ステップ 1** [ 拡張機能 (Advanced Features) ] > [ ボイスメール (Voice Mail) ] > [ ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile) ] の順に選択します。
- ステップ 2** 「ボイスメール プロファイルの検索」 (P.86-3) の手順に従って、削除するボイスメール プロファイルを見つけます。
- ステップ 3** 削除するボイスメール プロファイルの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ上のボイスメール プロファイルをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 4** [ 選択項目の削除 (Delete Selected) ] をクリックします。
- 

### 追加情報

「関連項目」 (P.86-6) を参照してください。

## 関連項目

- 「ボイスメール プロファイルの設定値」 (P.86-1)
- 「ボイスメール プロファイルの検索」 (P.86-3)
- 「ボイスメール プロファイルの設定」 (P.86-4)
- 「ボイスメール プロファイルと影響を受けるデバイスとの同期化」 (P.86-5)
- 「ボイスメール プロファイルの削除」 (P.86-5)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager へのボイスメールの接続性」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」